

2009年度 日本文化人類学会  
第6回 理事会 議事録

日時：12月13日（日）14：00～18：00

場所：上智大学 四ッ谷キャンパス 2号館 2-630a 教室

出席者：山本、赤堀、上杉、葛野、窪田、栗田、桑山、坂井、佐々木、関根(久)、関根(康)、鷹木、  
吉岡

委任状提出：太田、鏡味、春日、岸上、須藤、瀬川、名和、松田、和崎

〔承認事項〕

1. 2009年度第5回理事会議事録案

- ・前回（2009年度第5回）理事会議事録を承認。

2. 新入会員の承認

- ・新入会員（25名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。

〔報告事項〕

1. 会長報告

- ・菅原和孝評議員からの提起を受け、緊急会長声明「学術研究推進のための財政的支援の重要性について」を学会ホームページに掲載したことを報告。
- ・国立情報学研究所主催の第7回 SPARC Japan セミナー2009「人文系学術誌の現状－機関リポジトリ、著作権、電子ジャーナル」（平成21年12月11日開催）において、会長が学会の経験に基づいて電子化と著作権の問題について講演を行なったことを報告。

2. 庶務理事報告

- ・国立民族学博物館の須藤館長より『大学のためのみんぱく活用マニュアル2009』配付のため会員の住所ラベル提供依頼があり、総務会で検討の結果、本目的以外に使用しないこと、印字実費を支払うことを条件に提供を承認したことを報告。
- ・第24期評議員選挙実施に向けて第1回選挙管理委員会が10月17日に開催され、鈴木正崇氏が委員長に選任されたことと、今後の選挙関連の日程を報告。また、評議員選挙の投票〆切日前に投票率を上げるため〆切日が近づいたことを知らせるメールをJASCA-INFOで配信することが選挙管理委員会から提案され承認された。
- ・第5回学会賞候補者について評議員へ推薦依頼を10月15日〆切で行い、10月26日へ期限を延長した上で11月5日に開票したこと、その結果26票の投票があったことを報告。なお、次回より、「選考規定」に則り、投票をもって評議員会の推薦とみなし、投票結果について改めて評議員会の承認を求めることはせず、報告のみとすることを確認した。また、関根(康)理事より、今回の学会賞候補者推薦結果に鑑み、学会賞について根本的に議論する必要があるとの問題提起がなされ、今後の審議に向けて意見交換がなされた。

3. 会計理事報告

- ・学会所有の金銭信託・貸付信託について、満期のためメインバンクの定期預金への預け替えを検討していることを報告。
- ・平成 22 年度科研費補助金（学術定期刊行物）の計画調書を日本学術振興会へ提出したことを報告。

#### 4. 総務理事報告

- ・緊急会長声明「学術研究推進のための財政的支援の重要性について」を学会ホームページに掲載したことを人類学関連学会協議会及び文化人類学・民俗学関連学会協議会を構成する各学会に報告し、同様の声明・要望等を表明してもらおうよう依頼したことを報告。
- ・人類学関連学会協議会の合同シンポジウムについて、2010 年度は日本民俗学会が担当することを報告。

#### 5. 広報理事報告

- ・日本文化人類学会ロゴタイプ及びシンボルマークの選定を行なった結果、大澤元裕氏のデザインに決定したことを報告。
- ・大阪で開催された学会主催公開シンポジウムについて、科研費補助金の実績報告書を提出したことを報告。また、平成 22 年度科研費補助金（公開発表 B）の計画調書を提出したことを報告。
- ・会員調査票をメールでやり取りすることに対して、一部の会員から疑問の声があったことを報告。これに対し、次回以降は Web での調査票配信を希望しない会員については、郵送して欲しい旨を連絡するように JASCA-INFO で配信することとした。
- ・国立民族学博物館より機関リポジトリ掲載許諾依頼があり、条件付承諾を行ったことを報告。
- ・JASCA-NET でチェーンメールの誘発につながるメールの配信が見られたため注意を促したことを報告。

#### 6. 各種委員会報告

- ・JRC A 編集委員会：JRC A Vol.10 の進捗状況を報告。
- ・国際連携委員会：前回理事会で次期 WCAA 日本代表（Japan delegate）に決定した窪田理事を WCAA の会議に派遣する予定だったが、WCAA 副会長のトーマス・ロイター氏と別の機会に会談を行なうことができたため、派遣を取り止めたことを報告。また、次回理事会で学会誌の海外発送リストを提示する予定であることを報告。
- ・民博連携委員会：インタビュー映像の DVD 化が完了したこと、2 セット中 1 セットは国立民族学博物館の図書館、もう 1 セットは学会で保管することを報告。
- ・学会歴史委員会：旧民族学振興会の所有していた文書のうち、公開可能な資料の選別が進んでいることを報告。
- ・地区研究懇談会担当委員：各地区の研究会開催状況、開催予定を報告。
- ・学会賞選考委員会：評議員会の推薦を受けて選考に入ったことを報告。また、「学会賞選考規則」の文言等を調整・整備する必要があるとの提案がなされ、次期理事会に申し送ることとした。

#### 7. その他

- ・葛野理事より、2010 年度に開催される第 44 回研究大会（立教大学）の準備状況について報

告。また、研究発表査読委員会委員の栗田理事より査読の準備が順調に進んでいることが報告された。

- ・佐々木理事より、「報告書」に基づき第43回研究大会報告が行なわれた。また、今後の課題として、研究大会経費の余剰や不足に対応する方途を理事会で検討する必要があることが提言された。

#### 〔審議事項〕

1. 「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会報告についての見解」
  - ・資料に基づき「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会報告についての見解」について説明があり、意見交換の結果、各方面に確認を取った上で文言を調整し、内閣官房長官宛に送付することが承認された。
2. 澁澤賞選考委員の選定
  - ・澁澤賞選考委員について、委員長及び新たな委員について総務会案が示され、承認された。
3. 博物館法の見直しに関する声明の依頼（2件）
  - ・日本考古学協会と全日本博物館学会より博物館法の改正に対し反対声明を出して欲しい旨の依頼があったことが報告され、反対声明を出すことが承認された。
4. 国際シンポジウム後援依頼（神奈川大学常民文化研究所）
  - ・国際常民文化研究機構の主催する国際シンポジウム「海民・海域史からみた人類文化」の後援依頼が届いたことが報告され、検討の結果、後援することが承認された。
5. 部会制導入検討委員会の報告及び「素案」
  - ・関根理事より、資料に基づき、部会制等に関する他学会の現況、本学会にあてはめた場合等の議論を含め検討過程の説明が行なわれた。また、前期理事会より申し送られた「日本文化人類学会部会設立趣意書」「日本文化人類学会部会設立規則（案）」を踏まえた上で部会制のデメリット・メリットを確認したことが報告され、意見交換の結果、申し送られた「日本文化人類学会部会設立趣意書」「日本文化人類学会部会設立規則（案）」を現在の本学会に導入するには問題が多いため、廃案とすることが承認された。また、代替案として研究グループの可能性を探り、答申案を委員会で作成し次回理事会に提出することとした。
6. その他
  - ・年会費未納4年目の会員について2009年度末で退会処理を行なうことが承認された。
  - ・事務局職員の雇用契約更新について総務会より提案があり、契約更新が承認された。
  - ・赤堀理事より、「学会ロゴタイプ及びシンボルマークの知的財産譲渡（意匠）に関する覚書き（案）」が示され、承認された。

以上